

令和2年8月28日(金)
名田島地域交流センター

日本における ハンセン病政策の 変遷と人権について

佐々木 耕治



キーワード1

国立ハンセン病
療養所とは？

国立ハンセン病療養所
全国14か所



国立ハンセン病療養所とは…

医療機関と元ハンセン病患者の入所者が居住するコミュニティ。



医療機関



居住エリア



キーワード 2



入所者
療養者
元患者
回復者

元
ハンセン病患者

療養所への 訪問事業

長く悲しい歴史を
繰り返さないため、
山口県出身者との
交流促進事業を
行っています。



本日の内容



- 1 ハンセン病について
- 2 ハンセン病の歴史について
- 3 DVD視聴
「家族で考えるハンセン病」
- 4 ハンセン病療養所訪問について
- 5 おわりに

1

ハンセン病

について

ハンセン病とは

○「らい菌」という細菌による感染症。



アルマウエル・ハンセン

○明治6年(1873年)に、ノルウェーの医師アルマウエル・ハンセンによって発見された。

○彼の名をとって「ハンセン病」と呼ばれている。

らい菌の特徴

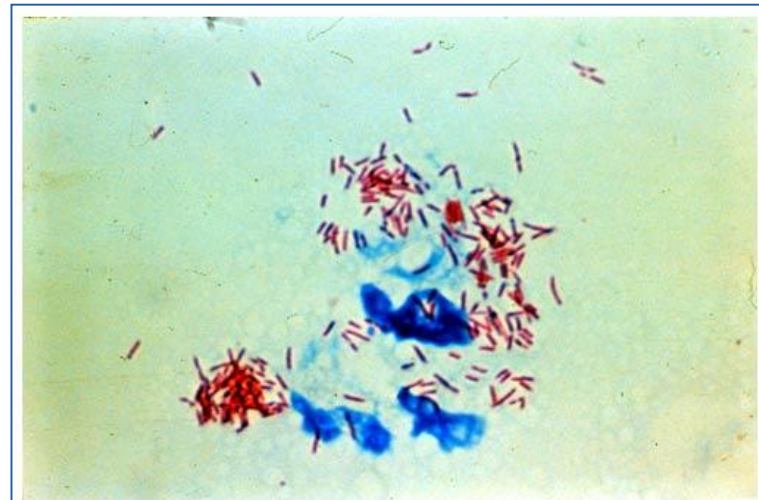


図1. らい菌（赤く棒状のもの、皮膚スミア検査、1000倍拡大）

○結核菌と近い関係にある細菌。

○比較的**温度の低い**ところを好む
（手足の先、頭、顔、耳たぶなど）。

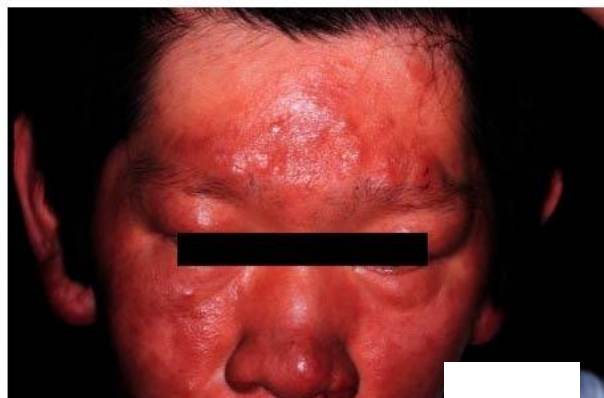
○感染力が微弱で**感染しにくい**。

○人工的な培養に成功していない。

○細菌の分裂の速度が極めて遅い。

ハンセン病の症状

- 末梢神経や皮膚がおかされる。
- そのため、感覚障害がおこり、温度や痛みを感じなくなる。
- 顔（鼻、眼、口）や手足が変形する後遺症が残りやすい。



ハンセン病は感染する？

- 感染し発病することは**稀(まれ)**。
- 乳幼児期に多量かつ頻回に、らい菌を口や鼻から吸い込む以外、**まず発病しない**。
- 日常生活で感染する可能性はほとんどない。
- 現代の日本社会のように文明化された社会では感染する可能性はほとんどない。
- ※ハンセン病療養所の医師や職員に発病した者は1人もいない。

ハンセン病は治る病気？

- 早期発見と適切な治療で、**確実に治る病気**。
- 日本では、第2次世界大戦後に効果のあるプロミン導入。
- 現在では、飲み薬の組み合わせによる多剤併用療法による治療。



プロミン

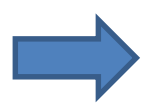


多剤併用療法

ハンセン病療養所に患者は？

○ほとんどの入所者は治癒している。

療養所には、患者はいない！



元ハンセン病患者

○療養所に入所されているのは、

後遺症や高齡化などのため。

最近のハンセン病患者数は？

西暦	和暦	患者数
1900	明治33	30,359
1925	大正14	15,351
1950	昭和25	11,094
1989	平成元	7,551
2012	平成24	0
2013	平成25	1
2014	平成26	1
2015	平成27	1

2

ハンセン病の 歴史について

昔のハンセン病患者の生活は？

明治時代以前、ハンセン病は、

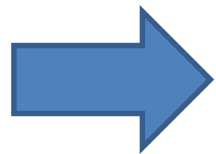
○天から受けた罰や報いの病

○遺伝病

と、誤解されていた。

この病気にかかり症状が進むと…

- 商家の奥座敷や、農家の離れ小屋で世の中から隠れて暮らしていた。
- 家族に迷惑がかかることを恐れ、放浪の旅に出る「浮浪癪」と呼ばれる人もいた。



神社・仏閣の前での物乞いなどへ

近代のハンセン病の歴史

諸外国から文明国として患者を
放置しているとの批判



明治40年(1907年)

らい

「癩予防ニ関スル件(法律)」制定

○放浪している患者を療養所に収容し、

社会から隔離。

昭和6年(1931年) ^{らい}「癩予防法」制定



○在宅患者にも療養所への入所を強制化。

すべての患者が収容の対象
強制入所、従業禁止などが規定。

ハンセン病は伝染力が強いという
考えがより広まる。



らい患者の収容

昭和15年(1940年)



強制隔離患者の輸送列車は通称「お召し列車」と呼ばれていた。

む らい けん

無癩県運動

「無癩県」：ハンセン病患者がいない県
すべての患者を隔離して、浮浪患者や在宅
患者が1人もいなくなった県を意味する。



患者を摘発して療養所
に送りこもうとする運動

プロミン登場

昭和18年(1943年)



アメリカでハンセン病治療に効果
のあることが発表される。

江戸時代の頃よりの治療薬
「大風子油（たいふうしゆ）」は
あまり効果を期待できなかった。





プロミンの注射風景 昭和28年(1953年)頃

優生保護法－ハンセン病も対象

昭和23年(1948年)施行

- 優生上の見地から不良な子孫の出生を防止するとともに、母性の生命健康を保護することを目的。
- 任意の優生手術、人工妊娠中絶の対象に位置付け。

ハンセン病患者においては、大正4年(1915年)より、患者同士の結婚を認める代わりに子孫を残さないという目的で、**不妊手術、断種**が行われていた。

不妊手術の強制とは

強制的な不妊手術
件数の推移

手術までの流れ

医師

都道府県

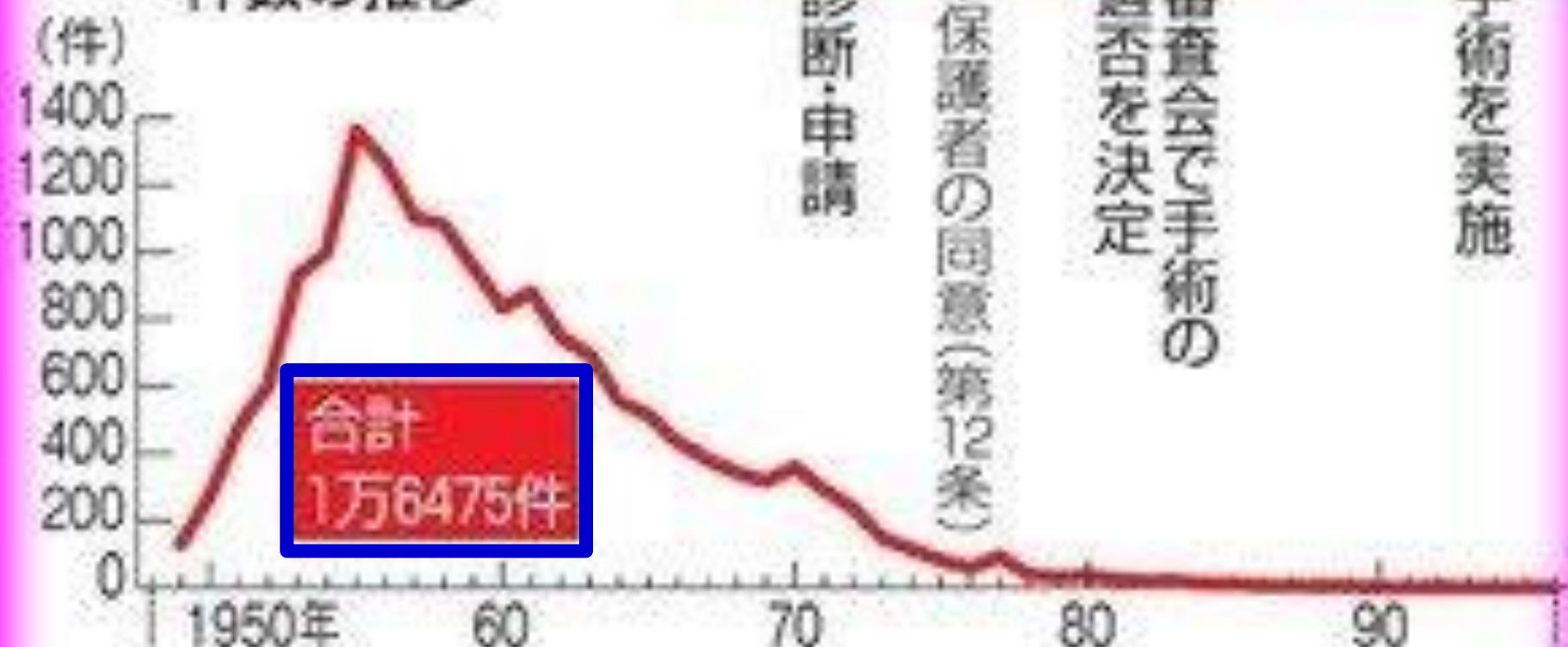
医師

診断・申請

↑保護者の同意(第12条)

審査会で手術の
適否を決定

手術を実施



差別的な規定を削除

昭和28年(1953年)「らい予防法」制定

昭和26年(1951年)国会参議院厚生委員会

「三園長証言」 → 隔離政策の継続



「癩予防法」の一部を改正した法律

強制入所、従業禁止、通告義務、

外出禁止、所長の懲戒検束権など

はそのまま維持。

隔離政策の継続を国会で証言した3人の園長の1人

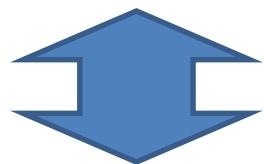
光田 健輔 (みつだ けんすけ) 氏

○山口県出身 医師

○明治9年(1876年)ー昭和32年(1957年)

○国立長島愛生園の初代園長

ハンセン病患者において
「癩の父」「慈父」と称される



患者の隔離収容を推進



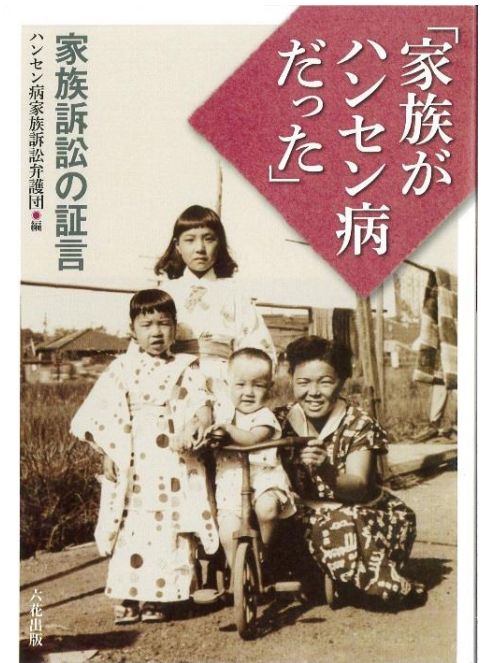
ハンセン病患者が
受けた差別

被害体験 邑久光明園調べ(301人中)

1	一家離散	4人
2	家族が職を失った	8人
3	監房に監禁された	12人
4	中絶を受けた	22人
5	家族が離婚した	31人
6	離婚した	48人
7	職を失った	50人
8	優生手術を受けた	59人
9	乗り物の乗車拒否にあった	73人
10	家族の縁談に支障が出た	82人
11	戸籍を外した	130人
12	家族と縁を切った	140人
13	強制的に入所させられた	187人



その後、少しずつ
ですが、差別を許さ
ない世の中になっ
ていきました・・・



「らい予防法」廃止

平成8年(1996年)

らい予防法の廃止に関する法律

○医療及び福祉は、「らい予防法」の
廃止後も継続すること。

「らい病」→「ハンセン病」へ

「らい」という言葉に蔑称の意味があるため。

厚生大臣が謝罪

○らい予防法の
見直しが遅れ
たことについて。



写真提供：共同通信社

菅厚生大臣が謝罪

「らい予防法」違憲訴訟で勝訴

平成13年(2001年)

「らい予防法」違憲国家賠償請求訴訟で
原告勝訴(熊本地裁)

➡ 国は控訴せず



写真提供・共同通信社



控訴断念後の小泉総理大臣

写真提供・共同通信社

ハンセン病療養所入所者等に対する 補償金の支給等に関する法律制定

- 補償金の支給

- ハンセン病患者であった者等の名誉の
回復及び福祉の増進

平成14年(2002年)

- 全国50の新聞紙上に厚生労働大臣
の名前で謝罪広告の掲載

依然として残る偏見・差別

熊本県におけるホテル宿泊拒否

平成15年(2003年)

熊本県のふるさと訪問里帰り事業

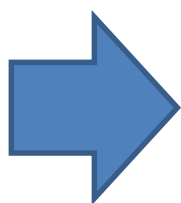
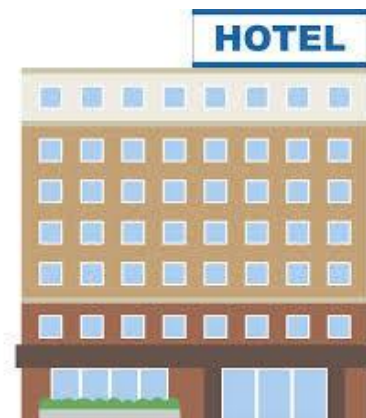
○県において、療養所入所者の宿泊予約

ホテル側はハンセン病元患者である

ことにより宿泊拒否。

世間の批判からホテル側は形式的に謝罪。

→療養所の自治会は謝罪の受け入れ拒否。



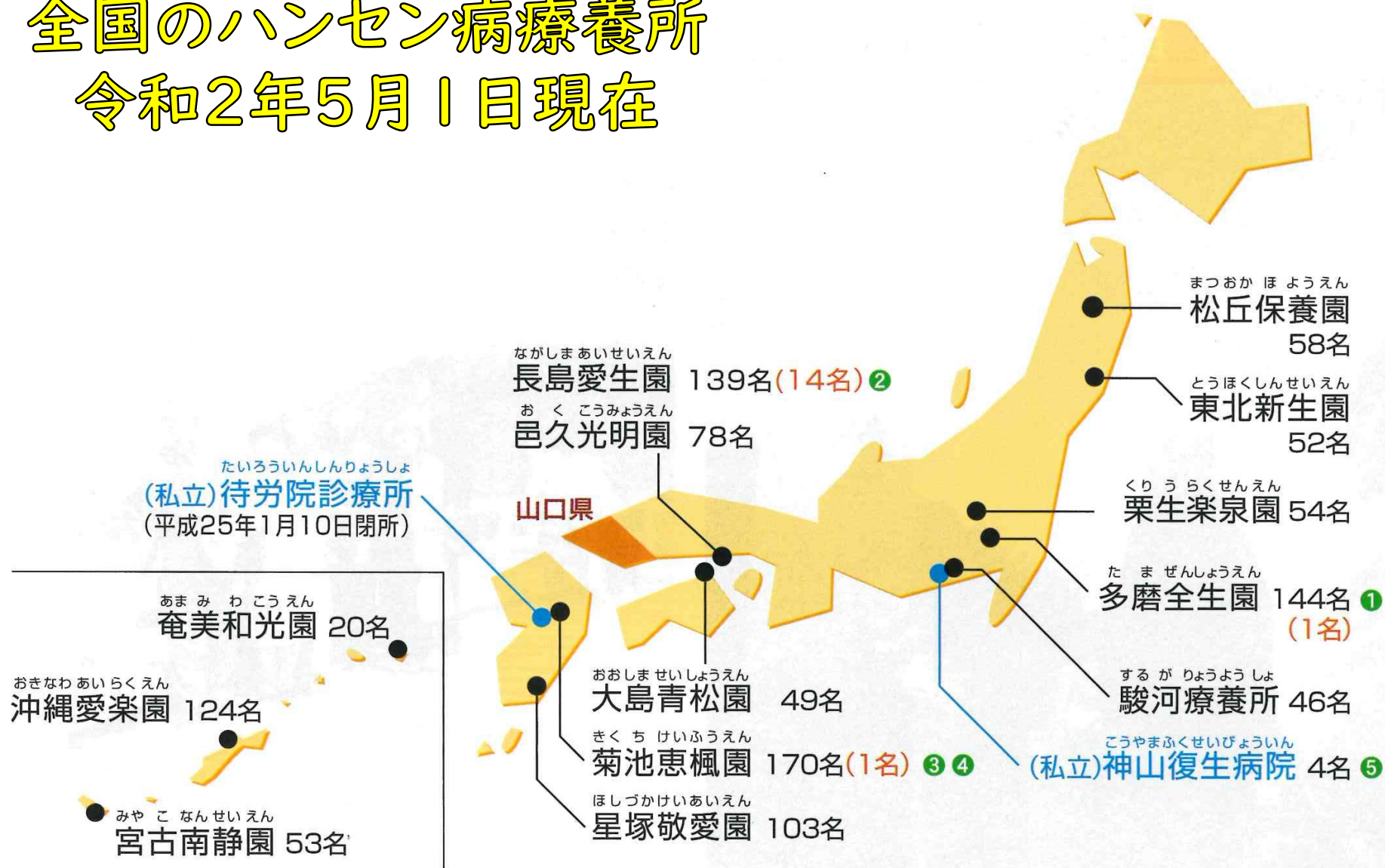
熊本県や元患者に対し、
抗議の電話や手紙が殺到。

現在の

元ハンセン病患者は

全国のハンセン病療養所

令和2年5月1日現在



（ ）... 山口県出身者の入所者数

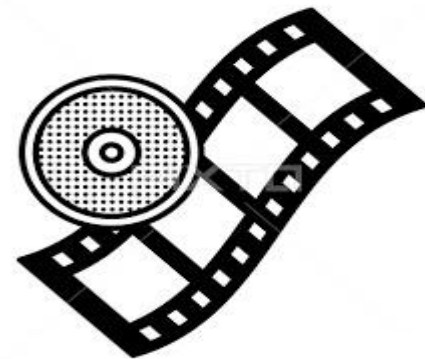
全国のハンセン病療養所

入所者数と山口県出身者の入所者数()内

※令和2年5月1日現在

入所者数と平均年齢	入所者数	平均年齢
全国合計(14園)	1,094名	86.3才
山口県出身(3園)	16名	88.1才

3



「家族で考える ハンセン病」



DVD視聴

4

ハンセン病療養所
訪問について

療養所への 訪問事業

長く悲しい歴史を
繰り返さないため、
山口県出身者との
交流促進事業を
行っています。



訪問先

岡山県瀬戸内市長島



研修の概要

目的

地域の中核となる学校・社会教育関係者等を県外に派遣し、人権課題等の現状を学び、人権教育の在り方について研修を深め、学校や地域における人権教育の充実に資する。

参加者

- ①学校の先生
- ②社会教育関係者
- ③教育委員会人権教育担当者



計31名

実施日

平成28年8月 9日(火)

8月10日(水)

研修先

○国立療養所 長島愛生園

(ながしまあいせいえん)

○国立療養所 邑久光明園

(おくこうみょうえん)

山口県の方が入所している 代表的な療養所

岡山県瀬戸内市にある長島

長島愛生園

邑久光明園

邑久長島大橋



日程

8月9日(火)

8:00~13:30

長島愛生園へ

14:00~16:30

講義

園内見学

入所者による講話

16:30~19:00

入所者との交流

8月10日(水)

8:00~

邑久光明園へ

9:00~12:00

講義

園内見学

入所者による講話

12:00~17:40

山口県へ

ハンセン病療養所
訪問で感じたこと



岡山県へ向かう
バスの車中

8/9長島愛生園

旧事務本館
(歴史館)



ベル制問題



職員室への立ち入りを禁止されていたため、廊下にベルを設置していた。



廊下に設置されたベル

消毒問題



消毒箱

生徒から先生へ手渡されるものは消毒が行われた。



消毒液

改良された道具



改造点筆

視力障害を負い、さらに指先の運動機能がマヒした人が使用したもの。



ボタン掛け

指先が曲がってしまい、細かな作業が出来ない人でもボタンが掛けられるように工夫されたもの



柄付きのスプーン

指が曲がり、握ることが困難になった人が使用したもの。

手が不自由なため、道具を改良して使用していた。

改良された湯のみ



熱さを感じないため、持つ
ところを二重にして使用した。

収容栈橋



家族との別離の場所

収容所（回春寮）



入所者が最初に連れてこられた場所



I 週間の滞在

- ・所持金検査
- ・ブリキの貨幣（園内用）
- ・消毒風呂



消毒風呂



入所者との交流

8/10邑久光明園

しのび塚公園



火葬場

- ・1500名の火葬
- ・48体の胎児等の標本



納骨堂

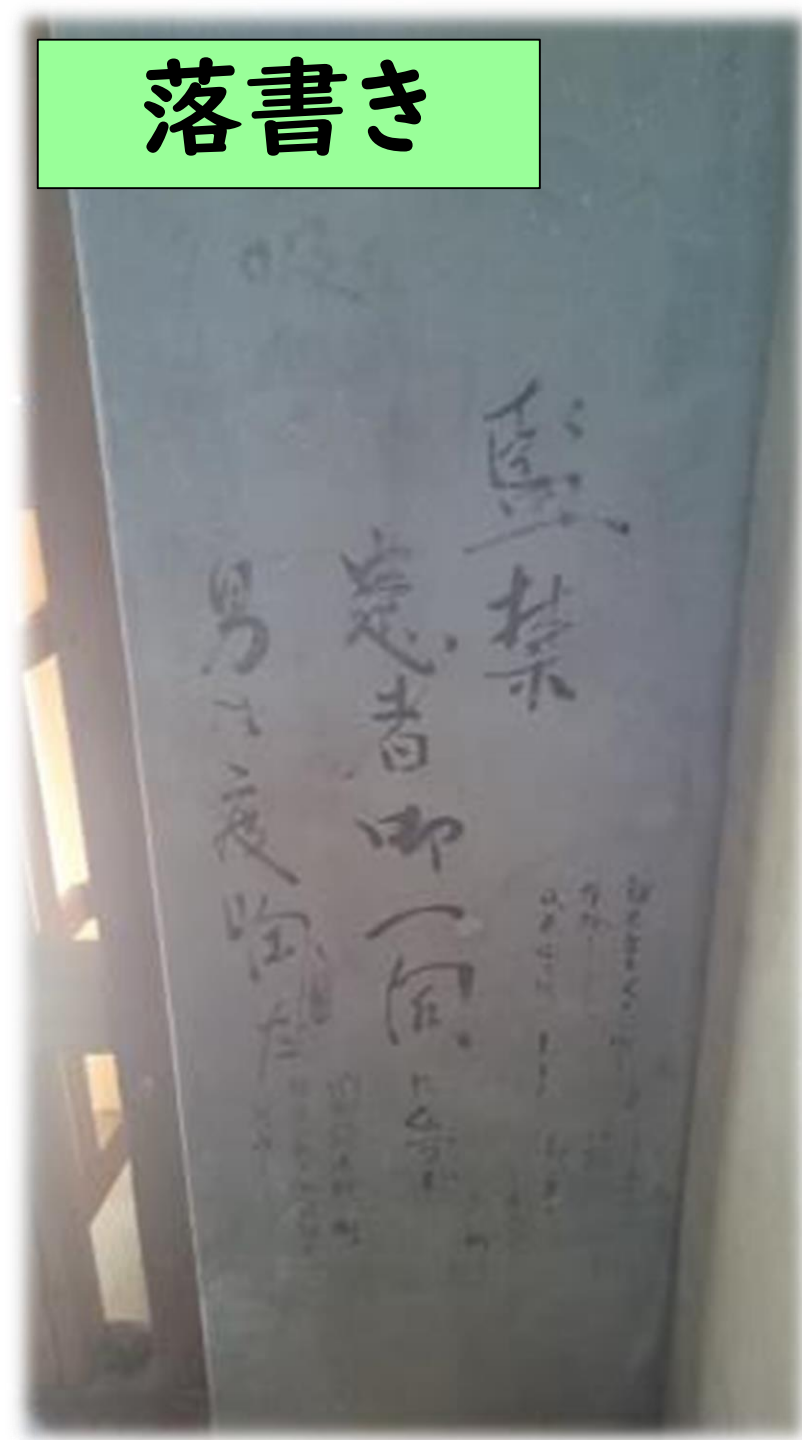
監禁室



懲戒のために、園長の権限で使用が認められた。



落書き



トイレ

食事は1日に1回

- ・親の不幸で逃走した者
- ・松の木1本切った者
- ・賭博をした者

展示資料室





入所者が
製作した作品



夫婦が生活した部屋（四畳半）

※復元された部屋

邑久長島大橋
(人間回復の橋)
1988年開通



祝 邑久長島大橋開通



1988年開通の様子

5

おわりに

二度とこのような過ちを おかさなないために

今、私たちにできることは

- ・ハンセン病について正しく理解し、
偏見や差別をなくしていくこと。
- ・ハンセン病の回復者やその家族の
方が安心して生活できるようにあ
たたかい支援の輪を広げていくこと。

ハンセン病だけの問題ではない

人権に配慮が必要な事例

- ・新型コロナウイルス (R2)
- ・HIVやエイズ問題
- ・新型インフルエンザ (H21)
- ・LGBT

将来も起こり得る可能性

感染症には、正しい
知識と理解が大切。

相手の人権を尊重する
気持ちをもつことが大切。



ご清聴ありがとうございました。